

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	安藤 真澄	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習 I の続きとして、インターネット上のデジタルメディアに記載されるニュースやSNS上の書き込みの信頼性について検証して行きます。フェイクニュースと呼ばれるニュースを事例に、どのような点に注意すれば怪しい情報に引っ掛かりにくくなるかを考察します。授業のある週のニュースの中で興味深いものを授業の最初に言って貰うことで学生のニュースへの関心を高め、日頃からニュースを読む習慣をつけます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	毎回、テーマを設定し、各自で調べ、まとめた内容を発表してもらいます。それを基に議論して行きます。毎回パソコンを使うので、必ず持参してください。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	専門演習 I の振り返り	インターネットのプラットフォームの責任と課題について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第2回	ネット炎上	ネット炎上の様々な事例をもとに炎上のプロセスを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第3回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第4回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第5回	ネット世論工作	世界各地の選挙に見るデジタルメディアの活用事例を知り、そこで的手法と問題点を学ぶ。例) オバマの手法	<input type="checkbox"/>
第6回	同上	2024年は世界各地で首相や大統領の選挙が行われる。そこではデジタルメディアの活用は不可欠となっている。そのプラス面とマイナスを知る。	<input type="checkbox"/>
第7回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第8回	フェイクニュースとは	フェイクニュースの事例や作成されるプロセスを知る。なぜフェイクニュースが作られるのかを考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第10回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第11回	AIがもたらす未来	ChatGPIを使ってみる。	<input type="checkbox"/>
第12回	同上	デジタルマーケティングとAIの関係について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	個人情報を守るには	個人情報保護とはどういうことか 何が個人情報なのか	<input type="checkbox"/>
第14回	同上	同上	<input type="checkbox"/>
第15回	全体のまとめと振り返り	まとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業で提示される本を読んでおく。日頃からニュースを読む。その日のニュースで面白いものがあればメモしておく。発表の準備のために文献を読み、ネットで調べる。(2時間) 授業で提示された概念を確認し、わからないところはさらに調べておく(2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

適宜課題を出し、その回答について次の授業でコメントする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	企業経営を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。発信する際のツールであるSNSに正しく向かい合える。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	さまざまな個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネスを通じ、多様な人びとと協働し、地域とつながり、地域社会の活性化・発展に貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業内で出される課題を期限内に提出する。レジュメの担当になった時はレジュメを作成する。その他、授業への参加姿勢も鑑み、総合的に評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし 必要な資料は適宜配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	一田和樹・齊藤孝道・藤村厚夫・藤代裕之・笹原和俊・佐々木孝博・川口貴久・岩井博樹『ネット世論操作とデジタル影響工作 「見えざる手」を可視化する』原書房、2023年	9784562072561
2	山口真一『ソーシャルメディア解体全書』勁草書房、2022年	9784236603503
3	吉野ヒロ子『炎上する社会』弘文堂、2021年	9784335552038
4	藤代裕之編著『フェイクニュースの生態系』青弓社、2021年	9784787234971
5	平和弘「チャットGPTvs.人類」文春新書、2023年	978-4166614134